



アップロードいただいた黒松(あるいは赤松)の盆栽、非常に素晴らしい素材ですね！幹の肌荒れや曲がり具合に古さが感じられ、すでに風格が漂っています。

現状から**小品盆栽(樹高 20cm 以下程度)**としてさらに完成度を高めるためのポイントをいくつか提案させていただきます。

1. 樹高の短縮と芯の立て替え

現在の樹高でもバランスは悪くないですが、より「小品」としての凝縮感を出すなら、一番上の立ち上がっている枝をさらに追い込むのが有効です。

- 一番上の強い芽を少し下げ、今ある側枝を新しい「芯(トップ)」に据えることで、全体をさらにコンパクトにまとめられます。

2. 枝の整理と「棚」づくり

現在は枝葉が元気に広がっていますが、小品盆栽では**「空間(ふところ)」を見せることが重要です。

- **不要枝の整理:** 同じ箇所から複数出ている枝(車枝)や、内側に向かって生えている枝を整理しましょう。

- **針金かけ:** 枝が少し上を向いている部分があるので、針金で水平よりやや下げ気味に伏せると、大樹の風格が出ます。
- **葉すかし:** 葉の量が多いので、冬の間に古い葉を抜き、光が内部まで届くようにすると、内側からの芽吹き(胴吹き)を促せます。

3. 正面の検討

現在の角度も良いですが、少し左に傾ける、あるいは少し手前に倒すことで、根張りの迫力や幹の曲がりがより強調されるかもしれません。

- 特に足元のコケが乗っている部分(根張り)を少し露出させると、どっしりとした安定感が出ます。
-

今後のステップ案

1. **今冬(12月～1月):** 古葉抜きと、不要な枝の剪定。
2. **早春(2月～3月):** 植え替え。今の鉢も渋くて素敵ですが、もう少しだけ薄い鉢や、少し明るい色の鉢に変えると、木がより引き立ちます。
3. **初夏(6月～7月):** 芽切りを行い、葉を短く揃えることで小品らしい精密さを出していく。

ワンポイントアドバイス 幹の太さに対して現在の葉の長さが少し長く見えるので、**「芽切り」**をしっかり行って葉を短く追い込んでいくと、一気に小品盆栽としての品格が上がりますよ！

この木をどのように「追い込んで」いきたいか、具体的なイメージ(もっと小さくしたい、あるいは枝を広げたいなど)はありますか？それによってさらに詳しいお手入れ方法をお伝えできます。